

平成 29 年第 9 回美唄市教育委員会会議録

- 1 と き 平成 29 年 5 月 18 日（水）
午後 4 時 00 分～午後 4 時 55 分
- 2 ところ 教育委員会室
- 3 出席委員
星野教育長 高橋委員 森田委員 齋藤委員 土肥委員
- 4 説明員
森川教育部長 阿部学務課長 西田学務課補佐 日下学校給食センター所長
谷村生涯学習課長 川西スポーツ振興課長 高田図書館長 高橋総務係長
- 5 開会
高橋委員を署名委員に指名
会期を 1 日と決定
- 6 議件名

その他 1	美唄市立図書館条例の一部を改正する条例に係る パブリック・コメント手続きについて
-------	---

概要記録

16:00

●星野教育長 ただいまから、平成 29 年第 9 回美唄市教育委員会議を開催いたします。順序第 1 会議録署名委員につきましては、高橋委員を指名いたします。次に順序第 2 会期の決定につきましては、本日 1 日限りといたします。次に順序第 3、教育長報告、行事報告・行事予定について、事務局から説明をお願いします。

●森川教育部長 はじめに説明員の欠席についてご報告いたします。本日、松井指導室長、谷川生涯学習課補佐につきましては、公務によりまして欠席いたします。

それでは、資料に基づきまして、教育長報告、行事報告・行事予定につきまして、ご報告いたします。

※教育長報告（添付資料 別紙 1）

※行事報告、行事予定説明（添付資料 別紙 2）

●星野教育長 ただいま、教育長報告、行事報告・行事予定について、事務局から説明がありましたが、何かご質問はありませんか。

●各委員 ありません。

●星野教育長 なければ、次に移ります。

次に、順序第 4 その他 1 美唄市立図書館条例の一部を改正する条例に係るパブリック・コメント手続きについて説明をお願いします。

●高田図書館長 その他 1 美唄市立図書館条例の一部を改正する条例に係るパブリック・コメント手続きについて、資料に従ってご説明をいたします。はじめに、図書館の指定管理制度導入についてご説明をいたします。本件につきましては、先月の教育委員会議前の協議会におきまして、概要をご報告したところでございますが、1 の「導入の目的」といたしましては、本年度の市政執行方針において、「事務のアウトソーシング化」により行財政改革を推進し、行政運営のスリム化に取り組むこととされまして、本年 2 月の企画調整会議において、検討の指示があったことから、図書館においてもこの方針に沿って運営コストの効率化を図るとともに、民間事業者の能力と活力を積極的に活用することで、市民サービスの一層の向上と図書館機能の拡充を図るために、検討を進めてきたところでございます。2 の「指定管理者制度の導入状況」につきましては、平成 27 年度におきまして、全国の公立図書館では 15.2%、全道では 8.5%と、他の公共施設に比較いたしまして、未だ、低い状況となっておりますが、道内の実施施設としては釧路市をはじめ、資料に記

載の 11 市町 12 館となっております。また、本市の社会教育施設における導入状況は、次のページの表のとおりでございます。主だった施設につきましては、既に指定管理者によって運営されているところでございます。本市、図書館におきましては、平成 15 年 9 月に地方自治法の一部が改正されまして、指定管理者制度が導入された当時、図書館法第 13 条 1 項におきまして、公立図書館には館長を配置すること、また、地方教育行政法第 34 条におきましては、館長は教育委員会が任命し、当該館長は公務員であることが規定されておりましたことから、本市を含めまして、ほとんどの自治体において、「指定管理者制度の導入が難しい施設」として、図書館への指定管理者制度の導入を見送ったところでございます。その後、平成 15 年 11 月に、地方教育行政法第 34 条の解釈において、教育委員会が図書館の指定管理を指定管理者に行わせる場合で、任命権の対象となる公務員たる職員がいない場合は、地方教育行政法第 34 条の適用はないこと、すなわち、図書館に館長を置く必要はあるが、公務員でない館長について、教育委員会は任命する必要がないものと解釈の変更がありまして、これを受けまして、平成 27 年までに、全国の市町村立図書館の 15.2% が指定管理者制度に移行している状況でございます。最近では、道内でも、深川市が平成 28 年度、恵庭市が本年度から、指定管理者制度に移行するなど、導入自治体が増えておりまして、このような状況から、本市においても条例を改正し、導入しようとするものでございます。次に、3 の「導入市町の状況」でございますが、こちらに記載の表は、道内導入図書館のうち、状況が比較的本市に近い図書館について、本年 3 月に調査したのですが、それぞれ、メリットを感じている一方で、デメリットは、教育委員会としての業務の負担感が増したという以外には、さほど見当たらない状況でございます。当館におきましても、考えられる課題について、対応を検討しながら進めて行くこととなりますが、大半の課題については、教育委員会側に司書資格を持った担当者を配置して、指定管理者と役割を分担するとともに、日常的に連携を密に図ることで解消されるのではないかと考えております。次に、4 の「スケジュール」でございますが、表の「網掛け」の部分につきましては、既に終了しておりますが、日付に「☆」マークが付いております 4 月 26 日に開催の教育委員会議前の協議会以降には、社会教育委員会議及び政策会議において、それぞれ説明を行っておりまして、今後は、5 月中に総合教育会議、行革推進本部会議を経たのち、経営会議において、図書館条例の改正素案について、パブリック・コメントを募集する旨を説明いたしまして、6 月定例会中の議員協議会において、市議会への説明を行いたいと考えております。6 月定例会終了後には、1 か月間のパブリック・コメントの募集を行ったうえで、条例改正案

を固めまして、8月の教育委員会議にお諮りいたしまして承認をいただき、9月定例会に条例改正を提案する予定となっております。市議会の議決をいただいた後、直ちに、指定管理者募集説明会及び1か月の期間を設けて、市内事業者を対象として公募を実施することとしております。その後、指定管理者の選定について、所定の手続きを経て、12月定例会に「指定管理者の指定の件」等の議案を提案する予定であり、業務につきましては、平成30年4月1日より引き継ぐ予定としてございます。なお、図書館には、現在、嘱託職員2名、臨時職員1名の長期勤務者がおりますが、これら職員につきましては、この期間中に、本人の意思確認をいたしまして、指定管理者のもと、引き続き雇用されるように協議を行うこととしております。次に、5の「今後の課題」でございますが、1点目は、図書購入費の充実についてでございます。図書購入費は、表に記載のとおり、財政健全化計画期間中に大幅に削減され、現在も、新聞等の購入費を含め3,000千円程度と、道内の都市の中でも、市民一人当たりの図書購入費が、現在、32番目ということで、たいへん低い水準となっております。今回、指定管理者制度の導入によりまして、運営コストの削減も予定されておりますことから、図書購入費の増額を制度導入のメリットとして、市民に還元していただきたくよう協議してまいりたいと考えております。2点目につきましては、職員配置についてでございます。指定管理者導入後のさまざまな課題の解消や円滑な図書館運営のためには、教育委員会に図書館業務を熟知した有資格者の配置が不可欠であると考えております。配置した職員の役割といたしましては、行政の意思や政策を反映する生涯学習推進計画や子ども読書活動推進計画の管理及び推進、図書館資料の選書・廃棄の管理、郷土資料の収集等のほか、指定管理者では、対応が、比較的難しいのではないかと考えられます学校図書館との調整・連携、住民登録情報の取り扱いもでございますので、これらを担当することを想定しております。また今回、図書館業務を指定管理者にお任せすることは、これから年数の経過とともに行政側には、専門性・特殊性の強い図書館業務を熟知する職員がいなくなるということの意味しております。将来、直営に戻すことはどうなるか分かりませんが、直営で行なうということは、だんだん困難になっていくと考えております。このような側面からも、図書館業務を管理できる職員の育成を並行して行っていく必要があると考えておりますので、以上、今、申し上げました2点への配慮を、これからの庁内業務の中でお願いしてまいりたいと考えてございます。これらの指定管理者制度の導入のため、図書館条例の改正が必要となりますことから、パブリック・コメントを募集するものでございますが、「ご意見を募集します」とタイトルの付いた資料をご覧くださいと思います。パブリック・コメン

トの意見の募集期間は、7月1日から31日までを予定してございます。意見を提出できる方の範囲は、市民または市内に通勤通学している方など、こちらに記載のとおりとなっております。次に、「美唄市立図書館条例の一部を改正する条例の概要」、「改正条文」、「新旧対照表」の資料をご覧ください。条例改正の内容でございますが、条文に指定管理者による運営に関する必要事項を加えるものでございますが、第1条と第3条は、「美唄市立図書館」という文言を条例中で「図書館」と省略して表現する規定について、本来でしたら、条例の一番最初のところで、「以下、何々という。」と表示しなければならなかったものなのですが、そのようになっていなかったことで、整理するものでございます。第4条では、図書館の職員について規定されておりますが、新たに但し書きを加えまして、指定管理者を指定した場合の除外規定を設けるものであります。第5条では、図書館の管理を指定管理者に代行させることができること、また、その場合の業務内容について、新たに規定するもので、新たな第5条の挿入することに伴いまして、以降の条文が1条ずつ繰り下がるものでございます。以下の「指定管理者制度の導入」についての説明資料、導入に関するQ&A、意見提出用紙を添付することとしております。以上のとおり、6月の定例会期中の議会協議会におきまして説明のうえ、パブリック・コメントを募集したいと存じますので、よろしくご審議のほどお願いいたします。

●星野教育長　ただいま、図書館長から指定管理者制度導入についての考え方・並びにパブリック・コメントの手続きについて説明がありました。この件について何かご質問があればお伺いいたします。

●高橋委員　資料の中の導入館一覧に、施設形態欄に単独だとか複合だとか併設とありますが、説明してもらえますか。

●高田図書館長　施設形態で、単独と書かれているのは、図書館が独立して施設が設置されているものでございます。併設・複合といいますのは、図書館と、例えば市民センターですとか、文化センターですとか、そういった類の文教施設と1つの建物になって、その中で図書館業務もやっていくということで、複数の役割を担った建物の中に、図書館があるという表現になっております。

●高橋委員　美唄は、どの形態になりますか。

●高田図書館長　美唄は、市民会館と接続はしているのですが、別の建物という区分になっていまして、単独施設という扱いになります。

●高橋委員　職員配置について、有資格者となっておりますが、現在の状況について、教えて下さい。

●高田図書館長　資格というのは図書館司書のことでございますが、現在、職員の

うち正規職員で2名、嘱託職員で1名が有資格となっております。また、施設全体の職員数は、現在、8名となっております。

●土肥委員 職員の配置ですが、指定管理の職員と教育委員会の職員とは、どういう関係というか、立ち位置について、どのように理解すればいいのでしょうか。

●高田図書館長 今現在、図書館に配置されている職員は、教育委員会から発令された市の職員が8名配置されております。これが、指定管理になりますと、配置される職員は、すべて指定管理者の職員になります。例えば、株式会社が運営をすれば、株式会社の社員が図書管理を行うことになります。図書館管理を行うためには、全く任せっきりとすることにはなりませんので、教育委員会に1名職員を配置し、図書館業務を受け持つところと、教育委員会の立場から、図書館業務に対して、いろいろ調整したり、指示を出したりとか、そういう調整を行うために教育委員会側に担当職員を1名配置したいと考えております。

●星野教育長 指定管理者制度が導入された場合、現在の図書館の職員は、一旦、引き上げるということにはなりますが、1名は窓口として残すことになり、指定管理者が雇った職員が業務するという説明です。

●土肥委員 分かりました。関連して、図書館というのは、入館料が発生するわけでもないのに、特に、商売になるものでもないのですが、指定管理を請け負った会社の方は、人件費とかは、どのように捻出されるのでしょうか。

●高田図書館長 図書館が指定管理になりましたら、市から委託料が支払われるようになります。指定管理費の積算の中に、光熱水費ですとか事務費、当然、そこに職員に要する経費ということで、人件費も組み込まれたものが、指定管理費として事業者の方に支出されて、事業者はその費用をもとに、運営をしていく形になります。

●森田委員 委託料に関しての使い方は、委託先にすべてお任せするということですか。

●高田図書館長 基本的には、業者の方で積算する経費と市の方で積算した経費の擦り合わせで金額を決めて、委託契約を結びます。基本的には、その費用の中で、事業者が図書館の機能を、発揮していただくようにやっていただければ構わないのですが、任せっきりにして、例えば、図書館のサービスが低下するとか、そのようなことを招いては困りますので、任せるときに、仕様書というものを市の方で定めまして、それに沿って仕事をやっていただきます。その中で、市の方が、図書の購入費として見込んでいる費用を、他の費用に回されると影響が出ますので、それは図書の購入費以外に使ってはだめですとか、そういう取り決めは、決めていかなけ

ればならないと考えております。基本的には経費の中で、事業者が自由に采配を振るうというのが基本的な考え方です。

●星野教育長 予算が決まった場合、事業者側から事業計画書を出してもらうことになります。教育委員会が事業計画書を精査し、承認することを説明したら分かりやすいと思いますので、そこを加えて説明してください。

●高田図書館長 事業をはじめるときに、請け負う事業者からは、事業計画書と予算書を出してもらいます。それを、教育委員会の方で精査いたしまして、適切な図書館運営に差し支えがなければ、認めるという形になりますので、ある程度、そこで、教育委員会と請け負った事業者の考え方の摺合せができ、運営してもらうという形になります。

●森田委員 最終的に、年度が終わった時には、全ての領収書ですとか、会計的なことは、すべて教育委員会が確認をするということですか。

●高田図書館長 今のところ、領収書の確認ですとかそこまでは、現在、既に指定管理を導入している施設についても行っていないので、年度が終わったあとに、事業報告書という形で収支の報告をいただき、確認をするということになります。また、毎月、事業の点検を提出してもらうことで、適切に事業が行なわれているか、管理といいますか目配せをするようなことで考えています。

●土肥委員 事業計画を精査した段階で、教育委員会の意に反するというか、事業としては認められないということになるのでしょうか。

●高田図書館長 基本的に、やっていただく事業というのは、図書館事業に相応しいものをやっていただかなければなりません。例えば、読書の推進ですとか、そういう内容の事業がメインになってくると思います。通常の図書館活動とかけ離れたような事業については、認められない部分はあるかと思しますので、図書館事業として、相応しいものをやっていただくということを、事前の事業計画等で確認しながら、協議をしていきたいと思えます。

●星野教育長 図書の充実の関係で、現在、行っているものより、多くすることは、充実の部分でいいと思いますが、土肥委員が聞かれている、例えば、人件費の関係で、市の積算よりも多く積算しているような事業計画が出た場合には、どうするのかということを踏まえて説明をお願いします。

●高田図書館長 市の方で見積もっている人件費が、5人で100として見積もっていた場合、事業者の方では100の中で6人雇用するということは、事業者の判断でしていただくことになるとと思いますが、例えば、100で積算している人件費を、120使うとなると、超えている20は、違う経費の方で削らなくてはいけなくなり

ます。他の事業費等に影響の出ないような諸経費の部分を削ってというような出し方でしたら、良いかと思いますが、事業全体に影響を及ぼすような費用の超過ですと、そういうものについては、なかなか難しいかと思います。

●星野教育長 そのようになった時には、教育委員会としては事業計画書に対して指導するということです。

●土肥委員 分かりました。

●星野教育長 他にありませんか。

●齋藤委員 教育委員会の方で、図書館司書を1名配置するということは、今現在、図書館に配置されている図書館司書の方が1名残るような形でなるのがベストなのかと思っていますが、これが5年先、10年先となった場合に、違う職員の異動とかで、引き継ぐような職員がいるのかということにすごく疑問があります。教育委員会から1名配置の体制でやっていたら、その職員しか分からないですし、その職員に何かあった場合、代わりになる職員がいるのかということが、ものすごく心配です。人員配置の件では、2名とは言わないですが、1.5人位で、ほかの業務と兼任してするような形にするなど、そのあたりも、再度、検討していただけたらなと思います。

●高田図書館長 ご指摘のあった部分については、大変、心配させる部分でもあるのですが、その1名が、どういう形で教育委員会に配置されるか、これから検討はしていかなければならないのですが、例えば、既存のどこかの課・系の職員として配置して、その中で、図書館の業務を行うということになった場合、主たる担当者と副担当者がいる形で、必ず、複数名が、その業務を担当するような体制をとりますので、そういう中で、後継者を育てたり、業務内容が分かっている職員を、複数名確保できるような形を取っていかなければならないと考えております。

●齋藤委員 複数名で行う場合、その方が図書館司書の資格を取得していくような支援は当然必要ですよね。そのあたりは、どう考えていますか。

●高田図書館長 現在、美唄市では専門職の図書館司書の採用は行っていません。現在、配置されている職員は、一般職で採用になった職員の中で、司書の資格を持っている職員が配置されている形でしております。今後も、そういう形が続いていくのではないかと考えています。新たに、資格を取るのにも、結構、時間と費用がかかりますので、配置されてから資格を取るということは、なかなか、現実的ではないと思いますが、まず、柱となる有資格者を置いて、資格が無くても、サブとなる一般職を、副担当というような形でやっていかなければならないのかなと思います。

●齋藤委員 分かりました。

●星野教育長 齋藤委員の意見は、人事異動に影響してくるということだと思いますが、人事異動に影響されないような、例えば、専従の職員を採用して配置することが当然考えられるので、今後、指定管理者制度の導入に向けて、職員の配置体制を議論もされると思います。今後、考え方も含め、部長の方で取りまとめをお願いします。

●高橋委員 基本的には、指定管理者になったとしても、現在、図書館が行なっている運営の仕方や後藤竜二さんの読書感想文コンクール等の行事も、全部引き継いでいくということですね。

●高田図書館長 基本的には、現在の図書館サービスの低下はしないということがありますし、プラス、請け負った事業者さんの努力で新たな事業を起こしたり、市民サービスの向上を図っていただきたいと考えております。既存の事業の中で、ある程度、役割は終えたものもあろうかとは思いますが、基本的には引き継いでいただく考えでおります。

●高橋委員 移動図書館もとかもですか。

●高田図書館長 基本的には、今あります財産といいますか、移動図書館車ですとか、いろいろな機器もありますが、それは、市の方の所有で貸与というような形で、そのまま使ってもらうような形の契約になろうかと思えます。

●高橋委員 貸与ということは、車検だとか更新等は、全部、市の方ですということですね。

●高田図書館長 そういう備品関係の更新ですとか、例えば、建物の維持管理のうち大きな改修ですとか、そういうものは、当然、市の方でやっていかなければならないです。指定管理費の中では、若干の修繕で、今、美唄市の場合は修繕の20万円以上の修繕とか、ある程度範囲が決まっておりますが、そういう部分は指定管理者の方をお願いすることになりますが、大きな修繕ですとか、備品の関係の更新、修繕は、市の方でやるということです。

●星野教育長 高橋委員の質問の費用分担、役割分担については、協定書の方に書かれていますので、それについて、説明をお願いします。

●高田図書館長 事業者とは、事前に契約を結ぶときに、仕様書ですとか協定書というものを結びます。その中で、費用の負担区分といったところで、こういったケースの時は、どちらが負担するのかという内容についても決められています。

●高橋委員 学校図書館との関係も気になります。

●星野教育長 学校図書館と公立図書館との連動については、色々、国の方でも考

えています。連携という考え方に何かあればお願いします。

●高田図書館長 いきなり、請け負った指定管理者が学校に入って、図書館との連携だとか事業だとかをしていくことは、なかなかハードルが高いとっております。そのために、教育委員会に配置する職員が、そのあたりの学校との調整、更に、図書館との調整というように、連携の仲介ですとか、当然、学校図書館となると、学務課の範囲になってきますので、学務課との調整なども教育委員会に配置する図書館担当職員が担当してやっていくようなことで、今、考えております。

●星野教育長 今、高橋委員が聞いている中には、学校図書館と公立図書館とのシステムの関係とかのこともあるかと思しますので、システムの関係を加えて説明できれば、お願いします。

●高田図書館長 現在、学校図書館には、図書館システムは入っておりません。将来的にデータベースを一緒にしてという話はあるのですが、実際、それを実施しようとすると、例えば、学校図書館の方の書籍を全部登録という作業もかなり膨大な作業になってきますし、図書館の利用者データーが、学校図書館の方では見れないようにしないといけないですとか、先に解決していかなければならないこともありますので、なかなかすぐに、学校図書館に共有システムを入れるということは難しいことですし、具体的な検討は、まだされておられません。学校図書館に学校司書が配置されないと、そのあたりも具体的にないかなかと思しますので、状況を見ながらで、将来的な課題と思います。

●星野教育長 どこが、指定管理者になるかは分かりませんが、仮に、ノウハウの持っている指定管理業者がなった時にも、そういう課題は、今後、協議していくことになるかと思いますが、当面は、なかなか厳しいのかなと思います。

●高橋委員 図書館の指定管理者制度の導入が低いというのは、どういうところに原因があると思いますか。

●高田図書館長 先ほども説明の中で触れましたが、基本的には、図書館には図書館長を配置し、それは公務員でないといけないという文科省の判断が当初ありました。そういうことで、なかなか自治体では図書館に指定管理制度を入れるのは、難しいというようなことがあったのですが、これは、その後、方針が変わって、公務員でなくてもよくなりましたので、指定管理者の方で、自分のところの職員を館長にということで、若干、進んできている部分もあります。また、指定管理者制度は、長くても5年位で更新されるわけで、そのため、職員も、もしかしたら5年で切られるということを考えると、継続性というものが必要な図書館にとって、職員が短期で変わるという不安定な状況は良くないですとか、そういうこともあって、なか

なか導入が進んでない状況というのはあるようです。その中ですが、直営の図書館だからといって、現在の職員が長くそこに勤務できることでもなく、美唄市のように人事異動で定期的に職員が入れ替わり、直営でも、なかなか職員の経験を積ませるということは難しい状況になってきております。指定管理者との協定の中で、職員の育成をしてくださいということを盛り込んだりしているところが増えてきて、最近では、道内でも、新たに、図書館に指定管理を導入するところが増えてきていますし、今、5年位の契約期間ですが、更新されることが、かなりの確率で多いこともあり、ペースは鈍いかもしれませんが、これから増えていくのかなと思っています。

●高橋委員 コストということでは、具体的な数字にしては、どれくらい効率化されるのですか。

●高田図書館長 図書館の経費というのは、ほとんどが、交通費ですとか、義務的経費と言ったらいいのでしょうか、固定経費が主なところですよ。コストの削減に結びつくのは、人件費の部分です。市の職員が、直接配置されることで、一人あたり事業主負担も含めて八百数十万の経費がかかってくるのですが、それを、民間にお願いすることによって、いくらかでも給与水準といいますか、そういうもので削減をしていくような形になります。どれくらいの職員の人件費を盛り込むか、これからまた、財政課との協議が残っておりますので、具体的にはどれくらいってことは申し上げられないのですが、一応、そういう部分がコスト削減の中心になってくるかと思います。

●星野教育長 今の市の正規職員が1名いるとしたら、積算についてはどういう基準で積算しているのか説明してもらえば分かるかと思います。例えば、嘱託職員に換算するとどれだけ経費が浮きますとか説明をすれば、理解していただけると思いますので、そのあたりの説明をしてください。

●高田図書館長 市の職員に置き換えといいますか、基本的には、非常勤職員については、現況の給与水準を引き継ぐような形で積算の方にするかと思います。正規職員の分が、例えば、正規職員の役職者については、他の指定管理施設とのバランスもありますので、そういうところを勘案しながら定めていくことになろうかと思いますし、一般の職員については、例えば、嘱託職員相当ですとか、そういうようなことでなっていくのかなと思います。基本的には、国で行う賃金構造基本統計調査がありますので、そういうものの数字を参考にしながら決めていきなさいということで、市の中で取扱いについての約束事がありますので、それに従って決めていくことになろうかと思います。

●高橋委員 指定管理に変わり、サービスが悪くならないようにしていただきたい
と思います。

●高田図書館長 市民サービスが低下して、コストが下がったのでは意味がないと
いうことを、十分、私どもも意識しておりますので、業者の選定と選定した後の協
議の中で、申し伝えていきたいと考えておりますし、契約の中にもきちんと盛り込
んでいきたいと考えております。

●星野教育長 他にありませんか。よろしいですか。

ないようですので、その他 1 美唄市立図書館条例の一部を改正する条例に係る
パブリック・コメント手続きについては、これで終わります。

本日の議事については終了しましたが、ほか、何かございませんか。

ないようですので、これをもちまして、平成 29 年第 9 回美唄市教育委員会議を
閉会いたします。お疲れさまでした。

16:55 終了

以上会議の顛末を記載し、その相違無いことを証するためここに署名する。

署名委員 高橋 泰浄

【別紙 1】

教 育 長 報 告

自 平成 29 年 4 月 26 日

至 平成 29 年 5 月 17 日

区 分	会 議 等
4月26日	第 8 回教育委員会議 教育委員室
26日	平成 29 年度美唄森と緑の会総会 市長会議室
27日	平成 29 年度北海道教科用図書選定審議会第 2 回会議 北海道第 2 水産ビル（札幌市）
27日	第 1 回市立幼稚園のあり方に関する庁内検討委員会 市長会議室
5月 9日	第 2 回市立幼稚園のあり方に関する庁内検討委員会 教育委員室
10日	社会教育委員会議 大会議室
11日	北海道都市教育長会春季定期総会 士別グランドホテル（士別市）
15日	第 65 回北海道公立文教施設整備期成会定期総会 京王プラザホテル（札幌市）
16日	キッズダンス教室開講式 体育センター
17日	キッズ・アスリートスクール開講式 総合体育館

上記のとおり報告する。

平成 29 年 5 月 18 日

美唄市教育委員会

教育長 星 野 恒 徳

【別紙2】

4 月 行 事 報 告

教 育 委 員 会

日	曜	行 事	時間	場 所	対 象
26	水				
27	木	ブックスタート(7か月児)	13:00	保健センター	市民
28	金	おはなしの会3歳児ブックスタート	10:30	図書館児童室	市民
		地域青少年指導対策協議会	13:30	大会議室	関係者
29	土				
30	日				

5 月 行 事 報 告

教 育 委 員 会

日	曜	行 事	時間	場 所	対 象
1	月				
2	火				
3	水	自主事業こども絵画展(～31日)	9:00	郷土史料館	市民
4	木				
5	金				
6	土				
7	日				
8	月				
9	火				
10	水				
11	木				
12	金				
13	土	おはなしの会3歳児ブックスタート	10:30	図書館児童室	市民
14	日				
15	月				
16	火	キッズ・ダンス教室①(開講式)	16:00	体育センター	市民
17	水	第2回定例校長・園長会議	9:30	第4会議室	関係者
		キッズ・アスリートスクール①(開講式)	16:30	総合体育館	市民

6 月 行 事 予 定

教 育 委 員 会

日	曜	行 事	時間	場 所	所 管
1	木	第37回道写協美唄支部写真展（～11日）	9:00	郷土史料館	生涯学習課
2	金	中学校体育大会（美中・東中）		学校・陸上競技場	
		読み聞かせ	11:30	子育て支援センター	図書館
3	土	小学校運動会（全校）		各小学校	
4	日				
5	月				
6	火	キッズ・ダンス教室④	16:00	体育センター	生涯学習課
7	水				
8	木				
9	金				
10	土	おはなしの会3歳児ブックスタート	10:30	図書館児童室	図書館
11	日	美唄山山開き登山会	7:00	美唄ダム事務所前（集合）	スポーツ振興課
12	月	キッズ・アスリートスクール③	16:30	中央小	生涯学習課
13	火	キッズ・ダンス教室⑤	16:00	体育センター	生涯学習課
14	水	第3回定例校長・園長会議	9:30	第4会議室	指導室
		古平文男写真展（～25日）	9:00	郷土史料館	生涯学習課
15	木	ブックスタート（7か月児）	13:00	保健センター	図書館
		なつかしの映画上映会	14:00	郷土史料館	生涯学習課
16	金	読み聞かせ	11:30	子育て支援センター	図書館
17	土	おはなしの会3歳児ブックスタート	10:30	図書館児童室	図書館
18	日	なつかしの映画上映会	14:00	郷土史料館	生涯学習課
19	月				
20	火	キッズ・ダンス教室⑥	16:00	体育センター	生涯学習課
21	水	第3回定例教頭・主幹教諭会議	9:30	第4会議室	指導室
22	木				
23	金	おはなしの会3歳児ブックスタート	10:30	図書館児童室	図書館
24	土				
25	日	第24回ファミリーサイクリング	8:30	市役所前（出発・到着）	スポーツ振興課
26	月	キッズ・アスリートスクール④	16:30	中央小	生涯学習課
27	火	キッズ・ダンス教室⑦	16:00	体育センター	生涯学習課
28	水				
29	木	青少年問題協議会委員・同専門委員合同会議	14:00	大会議室	生涯学習課
		3歳児ブックスタート	13:00	保健センター	図書館
30	金				

【生涯学習課】

街頭指導 1日（木） 22日（木） 29日（木）

街頭指導（中高一斉） 15日（木）

列車添乗 14日（水）

祭典指導 10日（土）～12日（月）

生徒指導交流会 27日（火）

【サテライト・キャンパス推進室】

講座～産業系人材養成講座1講座1回 6/6 18:30～20:00